

# 2021 年度 自己点検・評価報告書

アドミッションズセンター評価分科会

2022 年 3 月

## 基準5 学生の受け入れ

- ・ 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。
- ・ 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。
- ・ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
- ・ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

### 【1】2020年度の自己点検・評価および外部評価で課題となった事項

コロナ禍における入試選考は、柔軟な対応かつ公平性の確保が必要となった。今後の入試は With コロナのもと、新しい入試の形態の模索が必要となった。

また学力の3要素の評価については、文部科学省の方針、指針を念頭におきながらも、本学独自の観点からの評価も含めて改めて検討していかなければならない。

### 【2】2021年度の方針・改善計画（および中期的な改善計画）

総合的・多面的評価の入試制度としてアクティブラーニング（Active Learning、能動的学習）の要素を取り入れた「PASCAL（パスカル）入試」は、LTD（Learning Through Discussion、話し合い学習法）方式を取り入れるなど、特色のある選考を行っており、多様な学生を受け入れることができている。昨年度の実施にあたっては、コロナ禍の中、オンラインでのLTD、面接を行い、対面実施よりも評価がしやすいという結果となった。本年度もこの成果を踏まえ、オンラインでの実施を行い、思考力、判断力、主体性等を総合的に判断していきたい。

また、PASCAL入試での入学者の学業成績（GPA）は、他入試での入学者と比べても全く引けを取らず、総合的・多面的評価の観点からの妥当性と効果が裏付けられる結果となっており、今後の入試選抜の制度改革にいかしていきたい。

### 【3】2021年度の方針の点検・評価と2022年度以降の方針

2022年度入試もコロナ禍が継続する中での実施となった。総合型選抜入試としての「PASCAL（パスカル）入試」については、2021年度もオンラインで行った。また、一般選抜入試については、2022年度入試について名称変更を行った。2021年度入試の「一般入試A 大学入学共通テスト利用入試」を「大学入学共通テスト利用入試」に、「一般入試B ハイブリッド型入試」を「全学統一入試：共通テスト利用可」に、「一般入試C 大学独自問題型入試」を「一般入試」に変更した。

また、2023年度入試からは、PASCAL入試について、より発展させたプログラムを導入することとした。具体的には、PASCAL入試の募集人員を拡充するとともに、育成型の「PASCAL入試チャレンジプログラム」をPASCAL入試志願予定の高校生に提供し、同プログラムを修了した方に、出願資格である学習成績の状況（評定平均値）を3.5から3.0に条件を緩和することとした。本プログラムは3つのコンテンツ【LTD体験】【キャリアプランニング】【「オープンキャンパス」および「Campus Academic

Visit」(授業体験)への参加】で構成され、プログラムは原則オンライン (Zoom) で実施予定である。

これらの入試を通じて、学力の3要素を適切にはかるとともに、「PASCAL 入試チャレンジプログラム」では、本学を強く志望し、学力に加えて高校での諸活動を通じた様々な経験や資質をもつ受験生を入学前の段階から育成し、選抜および入学後の学びにつなげていきたい。